

## Housing Market News

2018 vol.9

8|24 ▶ 9|20

東京ガス株式会社  
営業第二事業部<http://biz.tokyo-gas.co.jp>今月の  
トピック解説

TOPIC

## 経産省、「Society5.0」の実現へ予算拡充

経済産業省は2019年度概算要求を公表した。住宅関連では、住宅のゼロエネルギー化、既存住宅の高性能化を継続支援する一方で、進化するテクノロジーを駆使して、社会課題の解消を目指す取り組みを支援する施策が目立った。

経済産業省では、AI、IoT、ロボットなど第4次産業革命の社会実装を進め、人口減少、高齢化、エネルギー、環境制約など、様々な社会課題を解決する「Society5.0」の実現に向け、データを核としたオープンイノベーションを推進する施策を強化する。

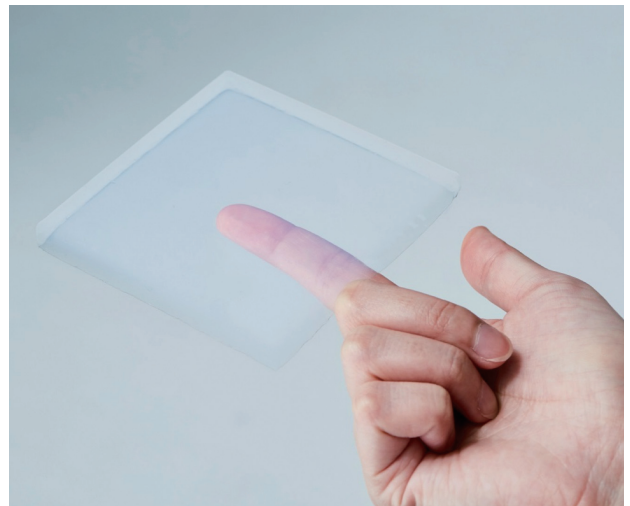
その取り組みの一環として「Connected Industriesの推進」に前年度比102億円増の249億円の予算を要求した。

市場の成長性、国産企業が有する強み、社会的意義の大きさなどから重点5分野（自動走行、ものづくり・ロボット、バイオ・素材、スマート保安、スマートライフ）を定め、取組の加速化と政策資源の集中投入を図る。具体的にはデータ共有を通じた協調領域の拡大や、AIベンチャーなどと連携したデータ活用・サービス開発などを支援する。

この重点5分野のなかでもとくに住宅業界と関連しそうなのがバイオ・素材だ。

バイオ・素材では、生物資源データなどを活用した革新技術の開発を促す。例えば、「計算科学等による先端的な機能性材料の技術開発事業」（27.5億円）では、高い断熱性と軽量性を兼ね備えた窓に使う透明シートなど、新規の超先端材料の創製と開発スピードを劇的に短縮することを目指して、AIなどを活用した革新的な材料開発基盤技術を確立する。

「植物等の生物を用いた高機能品生産技術の開発事業」（30億円）では、企業等が保有する生物機能データを収集しデータベース化を進めるとともに、AI技術を駆使した生物の代謝機能などの設計を可能とする基盤を確



京大発のベンチャー、ティエムファクトリが開発したエアロゲル「SUFA」。軽量性、透明性、高断熱性を兼ね備えた新素材として注目を集める。経産省では、バイオ・素材を重点分野の一つと定め政策資源を集中投入する。こうした取り組みからSUFAのような革新的な新素材が生まれてくるかもしれない

立し、新素材生産等のバイオ産業創出を促進する。こうした事業から住宅に技術革新を呼び込む新素材が生まれてくることも期待できそうだ。

ライフデータ情報の活用推進し  
サービスを高度化

また、経産省が掲げる重点分野の一つ、スマートライフも住宅産業と密接に関連する。

スマートライフでは、高齢社会などに対応した生活データ活用サービス（見守りサービスなど）の創出のため、センサーなどが取得するデータの可視化、品質向上などを促す。ここにきてスマートスピーカーが登場し、住宅内に設置した家電やセンサーなどから収集した生活者のライフデータ情報を活用したサービス提案が活発化してきているが、生活者のニーズを踏まえた複数のサービスにおいてライフデータ情報の利活用を推進し、サービスの高度化につなげていきたい考えだ。

## NEWS

今月の主なニュース

8|24

9|20

▶ [積水ハウス 大手デベなどと大阪駅徒歩圏で51階建て・871戸のタワマン 全戸にエネファーム設置](#)

▶ [大東建託 新形態の戸建賃貸を試行 カスタムオーダー可能、5年ごとに家賃5000円減額](#)

▶ [国土交通省 「安心R住宅」の事業者団体に全宅連が登録 全部で7団体に](#)

▶ [南海プライウッド 家中の収納プランを簡単操作で選べるツールの提供を開始 収納量の目安も表示](#)

▶ [LIXIL 車いす対応キッチンをモデルチェンジ 座ったままで快適に料理ができるよう設計](#)

▶ [リンナイ 狭小地設置に適した幅250mmのスリムタイプの高効率給湯器を開発 業界最軽量も実現](#)